



# TOKYO 2020

## オリンピック・パラリンピック競技大会運営に 関する準備・運営業務に係るコロナ対策計画作成 業務支援委託について

東京2020競技大会組織委員会 大会運営局

2021年3月10日

# 経緯

**世界的なコロナウイルスの蔓延に伴い、安全かつ安心に大会を実施、運営するためには、政府方針等も踏まえ、各競技会場においても万全のコロナ対策を講じていかなければならない。**

**これまで、各競技会場においては、国内スポーツイベント運営に精通し、かつテストイベントを受託している事業者と契約し、競技会場運営にかかる準備及び計画策定等を進めてきている。**

**事業者が積み上げてきた知見やノウハウを最大限に活かしながら、早期にコロナ対策を踏まえた計画策定業務を委託する必要がある。**

# 早期委託の必要性

運営計画の中に、これまで想定されていなかったコロナ対策に関する新たな機能を加えていくことや、既に計画した内容についても、見直しや改良をしていく必要がある。安全・安心な運営と効率的・円滑な運営を両立させることができる知見が必要

一方で、40以上の会場で同時に大規模スポーツイベントを実施した例は過去になく、単体で実施するイベントや同一競技を複数会場で実施する場合（W杯等）と比べても、調達しなければならないリソース（人材や資機材）はかつてない量となっている。

多数のスタッフ確保や膨大な数の資機材準備のためには、多くの事業者間調整等が発生し、非常に多くの時間を要するため、事業者の知見を得ながら早期にコロナ対策の計画をまとめ、調達の具体的な規模感を明らかにして発注をしなければ、大会本番に間に合わない。

# 具体的な計画の内容

## ■ 会場運営計画（VOP）の改良が必要となる要素（例）

### ✓ 関係者動線や観客待機列の変更

→ アクセスコントロール要員や資機材の配置見直し

→ 確保するフィジカルディスタンスの水準に従って要員や資機材の配置数変動

### ✓ 新規機能の追加（例：検温エリア、二次検温エリア、隔離テントの新設等）

→ 資機材のレイアウトや人員配置の見直し

例) 検温所設置に伴い必要となる資機材と暑さ対策用資機材との関係整理  
検温エリア新設に伴う事業者スタッフの配置計画の見直し

⇒ コロナ対策の推進に伴い、新たに必要となる人員・資機材についての  
具体の検討・確認が必要となるほか、既存物品との効率的な運用手法の  
検討等、多角的な検討・見直しが求められる。

政府方針等に基づく計画変更は大会直前まで続く見込み。

# コロナ対策関連のスケジュールについて

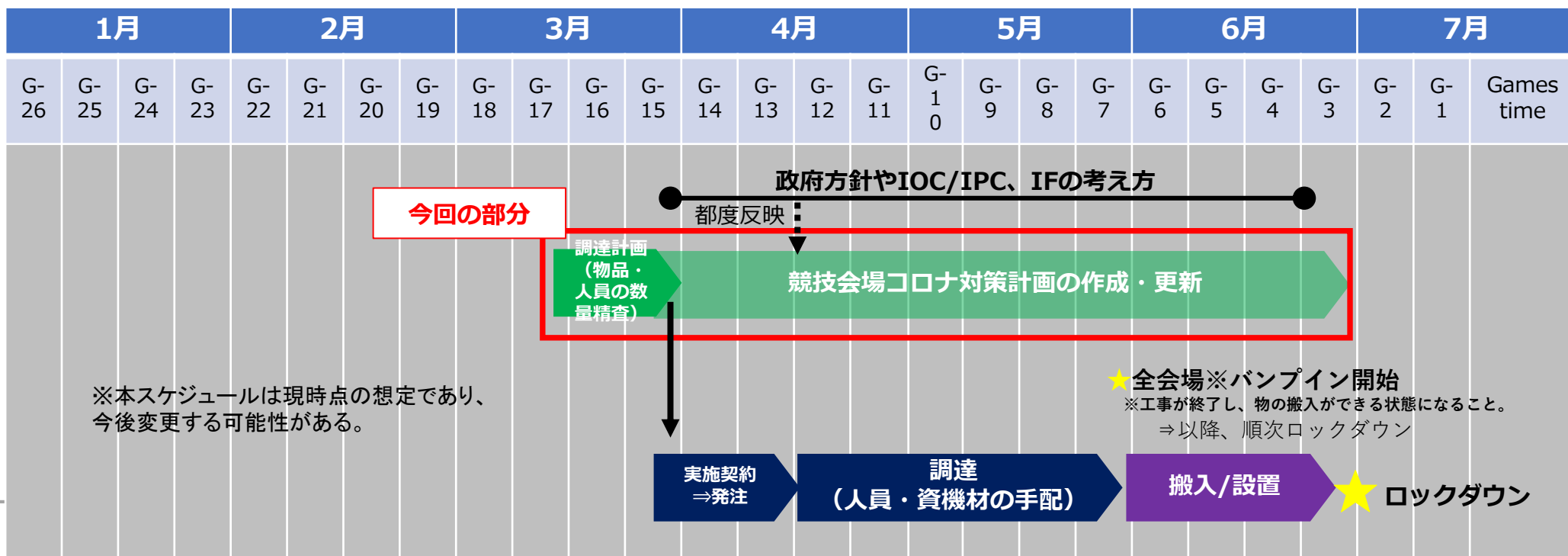
## コロナ対策に係る計画業務及び実施業務

今回の部分

### (1) コロナ対策計画業務

### (2) コロナ対策実施業務

上記計画を踏まえ、対策に必要な人員や資機材を発注していく。



# 契約予定金額について

- 各社への見積もり作成依頼にあたり、発注内容等を精査することで予定金額を削減
- 以下の観点に基づき、各社と交渉し、更に金額を削減
  - (1) コロナ禍における当該競技大会の開催実績
  - (2) コロナ禍における当該会場の稼働（開放）実績
  - (3) 当該会場におけるコロナ対策計画策定/実施の想定難易度

**予定金額：V5予算の範囲内**